

「勇気・元気・心」  
S.C CUORE(クオーレ)

市民の  
ひろば

6  
June



ドリブルの速度を落とさな  
いようにパイロンを回る



大崎 直導 選手(4年生)  
「チームの結成をきっかけ  
にサッカーを始めました。  
いろいろな技を積極的に覚  
えていきたいです」



思い思いのスタイルでボールに親しむ

ぼくたちS.C CUOREは、地元の子どもたち60人で活動しているサッカーチームで、毎週土・日曜日に平成小学校のグラウンドで練習しています。チームの中にはサッカーを始めて間もない友達も多く、お互いにボールの扱い方などを教え合いながら、お兄さんのようなコーチたちと一緒にサッカーに親しんでいます。

チーム名の「CUORE」とは、イタリア語で「勇気・元気・心」を意味する言葉です。ぼくたちのチームは、昨年の9月に来たばかり。個人の技術やプレーの連携など課題もたくさんありますが、監督やコーチにほめられたことを励みにして、プロサッカー選手になることを目標に頑張っていきたいと思っています。

監督は「サッカーの技術を教わるのではなく、コーチのプレーを見て、まねすることで、自分で考えてサッカーを覚えることが大事」とおっしゃいます。身に付けるべきテクニックが数多くある中で、今は、ボールを身体から離さずにドリブルやフェイントができるようになることがぼくたちの目標です。

さわらび会(水彩画)

草花に魅せられて

わたしたちは、毎月第1水曜日に橘賀台公民館で、草花の水彩画を描いているサークルです。発足から20数年を数え、現在は講師はいませんが、みんなで和気あいあいと活動しています。

水彩画の題材となる草花は、自宅の庭で栽培したものなどを各自が持ち寄ったもの。季節ごと、そのときの気分に合わせ、自分流に描いています。



お気に入りの草花を持ち寄って



その日の気分に合わせ、のびのび描いています

草花を眺めていると、清純な幼心に戻ったような気持ちになりませんか。可憐かれんにひっそりと咲く様子に、自分たちの若き姿を重ね合わせているのかもしれない。また、愛情を注ぎ手間をかければかけるほどに、美しい花を咲かせて心えてくれるんです。そんな人間味あるところに、草花の魅力を感じています。

サークル名の「さわらび(早蕨)」は、萌え出したみずみずしいワラビに春の到来を喜ぶ、万葉集の句の中で用いられているものです。草花からエネルギーをもらいながら、これからも自分だけの水彩画を描いていきたいと思っています。

庭や道端で、けなげに咲いている草花に、ふと目が止まったことはありませんか。そんなときは、押入れに眠る絵の具セット、久しぶりに使ってみてください。

スクスクのびのび 344



松本 憲けんしんくん(5歳・中)並木町  
萩原 麻衣まいちゃん(5歳・右)  
吉田 心優みゆうちゃん(5歳・左)

3人は幼稚園のお友達。いつも一緒のバスに乗って通ってるんだ。今日も元気いっぱいお外で走り回って遊んでるんだよ。でも、そろそろママたちが呼んでるからうちに帰らなきゃ。「じゃあみんな、また明日幼稚園で遊ぼうね!!」



金澤 竜馬りょうまくん(5歳・右)三里塚御料  
雄馬ゆうまくん(3歳・左)

体操を習っているんだよ。側転がうまくできるんだ。あと、「ドラゴンボール」が大好き。カードを集めてゲームするのが楽しいよ。(竜馬)  
「機関車トーマス」が大好き。中でも「ヘンリー」が好きなんだ。ほくもカードをたくさん集めてるんだよ。(雄馬)

高見世 奈々なな華かちゃん(加良部)



こんにちは赤ちゃん 138

久津 健人けんとちゃん(新駒井野)

